群馬大学医学部附属病院　2021年度

医療安全週間

資料Ｎｏ４－２
Ｒ３．９．27　患者参加型医療推進委員会

理部
全 係

# 患者参加に関するアンケート結果報告

## 患者参加とは

患者さんと医療者が協力しながら、一緒に医療をすすめることです。患者さんが医療に参加する方法は、自身の治療についての選択や決定・セルフケアなどさまざまあります。

当院では、入院患者さんが自身のカルテを閲覧できる「カルテ共有」や、患者さんの視点を病院運営に反映させるための「患者参加型医療推進委員会」などの取り組みがあります。

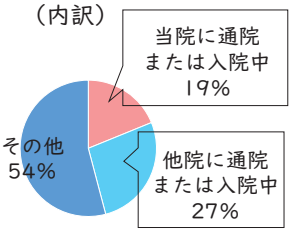
## 本調査の目的

患者参加について、患者さんが考える医療への参加方法と、それについてどの程度重要と感じているかを具体的に知ることで、より高い医療の質と安全へ繋げていくことです。

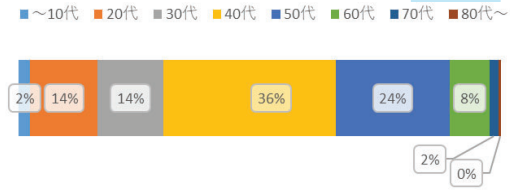
※本アンケートにおける「患者さん」は、患者さん本人とそのご家族・パートナー等を含みます。

●実施期間：2021年8月6日(金)～8月31日（火）
●方法：アンケート（Webアンケート/紙面）
→院内掲示、ホームページ、SNSで周知
●回答者：207名

（内訳）

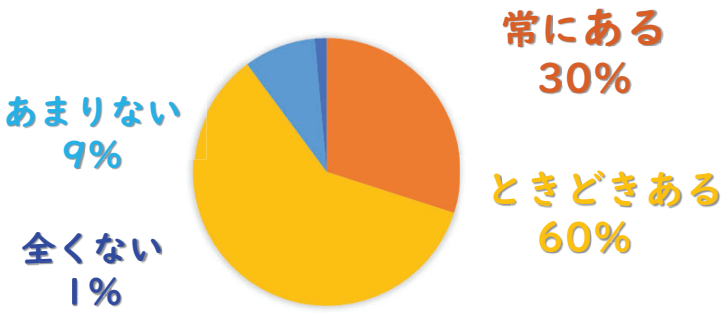



年代別

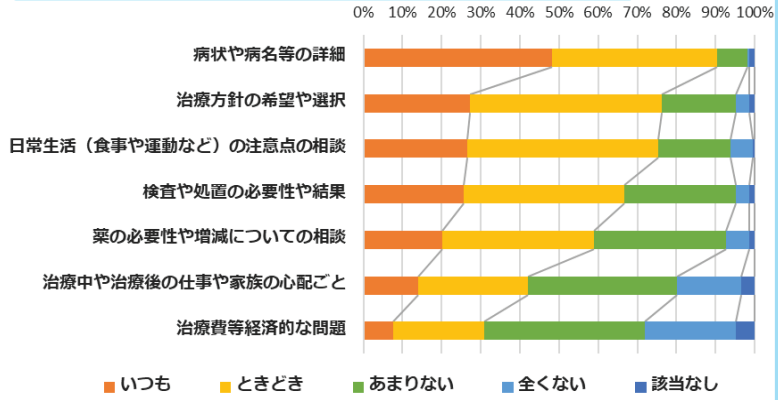



## Q1　質問したり気持ちを伝えられている？

受診の時、医療者に質問したり、自分の考えや気持ちを伝えたりすることはありますか？

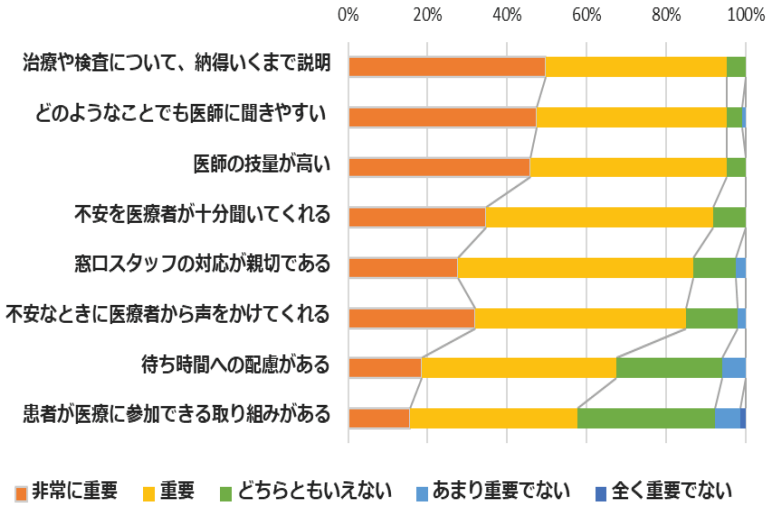



## Q2　具体的にどんなことを質問しているか？



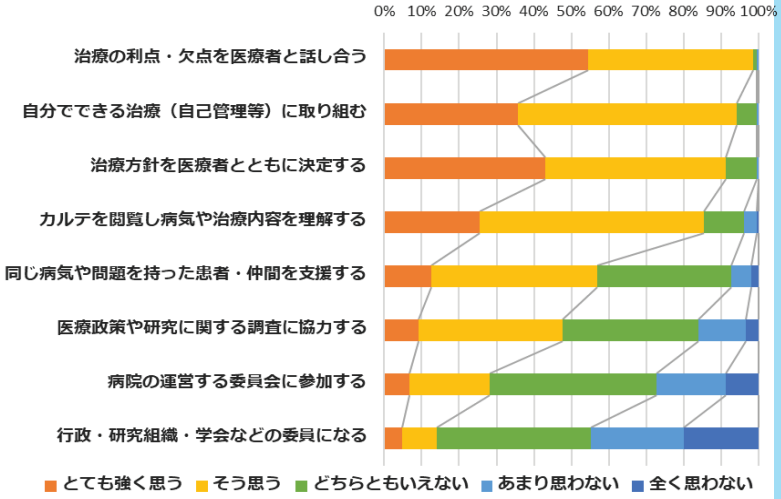

**その他の意見**
・治療期間、症状が起きる原因など

## Q3　受診の時、どんなことを重要と感じている？




**その他の意見**
・清潔感があること
・話し方が、強引であったり高圧的でないこと

## Q4　どんなかたちで医療に参加したいと思う？




**その他の意見**
・患者と医師看護師等が、日頃の思っていることを言い合える場があると良い

## まとめ

・本アンケートの回答者のうち、「常に」質問したり伝えたりしているという回答は30%であり、「ときどき」を含めると90%でした。また、病状や治療にかかわる質問はしやすいが、仕事や家族の心配ごと、経済的な問題は質問しにくいという結果であり、受診については、納得いくまで説明してくれることや、聞きやすさが重要と感じているという結果でした。
・医療者は、分かりやすい説明とともに、患者さんが気兼ねなく質問し、希望を伝えられるよう心がけ、患者参加型医療を推進していく必要があると考えます。